

自己評価結果報告書

1. 本園の教育目標

教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、カトリック精神に基づいて豊かな情操と円満な人格の完成を目指します。幼児一人ひとりの個性を尊重しよりよい環境を与えて、明朗・素直純真で心身共に健全な発達を助長し、良き社会人となる基礎を培うようにしています。

2. 2024年度、重点的に取り組んだ目標・計画

2025年度から幼稚園型認定こども園への移行に向けての準備期間とする。10年先・20年先を見据えた環境をこの1年間で熟考し整えていく。
子どもにも、保護者にも、働く職員にも魅力のある幼稚園づくりを目指す。

3. 評価目標の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none">・各クラス担任・副担任を配置、より細かく子供たちに配慮できるような環境構成を整える。・研修担当の職員を配置し、園内研修の充実
教育内容を深める	<ul style="list-style-type: none">・本園は、自然が少ない地域、園内環境である。2階テラス・園舎前駐車場の花壇、園庭などの緑化活動をとおして子どもたちが自然と触れ合う機会、体験を増やしていける環境構成を心掛ける。・自然と触れ合うこと（花・緑・虫等）による心の育ちを大切にする。自然の中の神様を感じる。・支援の必要な子どもの増加、職員の配置、教職員研修による理解、臨床心理士によるキンダーカウンセリングの時間などを充実させる。 子どもだけではなく、子どもを取り巻くすべての大人も含めた支援に取り組む。・園内研修の充実 研修担当をきめ確実に実行できる環境と人員配置の確保をする。
環境整備	<p>園庭南西のプレハブ跡に木造2階建ての別棟を増築</p> <ul style="list-style-type: none">・預かり保育・2歳児保育・未就園児または地域子育て支援のために使用する保育室の確保。・職員休憩室、男性職員更衣室の確保 給食準備室の確保。

保護者との連携 地域との連携 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会活動『みその会』の存在について、連携しアンケートなどを行い次年度からの活動形態と一緒に模索する。アンケートの結果は、活動は縮小するが、『みその会』としての保護者活動は続けていく。運営・活動の仕方などは、考えていく。 ・隣接の住吉教会との交流 ・幼少連絡会に参加し小学校との連携をとっていく。 ・トライアルウィーク・ふれあい活動などを受け入れ地域の中学校と連携をとっていく
---------------------------	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

少子化・社会の流れなどを受け、2025 年度は星の園幼稚園も大きく制度の変革を求められる年です。環境を整えていくと同時に子どもたちにも、保護者にも、職員にも納得ができるような変化への説明を丁寧に行うよう心掛けました。職員が平和であることが幼稚園の又は、子どもたちへの 1 番の環境であると考え『子どもたちにも、保護者にも、職員にも魅力のある幼稚園であること』を目標に取り組みました。決断するところ・意見を取り入れるところ・耳を傾けるところ、いろいろな意見が飛び交った 1 年間でした。

保護者の皆様、教会の方々、子供たちにかかわるすべての協力を得て、無事 1 年を終えることができたことに感謝いたします。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員増加により新しく入職してきた職員も増え、園内研修に力を入れていく。 ・職員全員で意見の交換ができる精神的・時間的余裕を持つ。 ・いろいろな研修に参加し自己研鑽をつむ。
教育内容を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリック精神の理念を職員が共通理解をし、深めていく。
環境設定・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の変化（猛暑等）に子どもたちが、柔軟に対応できる環境の整備。 ・実体験の活動を通して子どもの、情緒を豊かにする活動環境。
保護者との連携 地域との連携 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡ツールに I C Tなどを活用し、子どもたちの日々の成長の様子などの発信を行っていく ・子育てサロン・園庭開放・ふたば組など地域に発信をし、未就園児への門戸を広げていく。 ・地域の子育て家庭世帯の安心基地となれるような幼稚園を目指す。

● 2025年度、重点的に取り組む目標と計画

- 職員が主体的に学びを深めていける体制づくり
 - ・職員配置
 - ・職員が他園の保育を見る機会を作り自分の保育への振り返りと共に気づきを生かし成長していけるような機会を持つ
- 子供の成長や発見を保護者と一緒に喜びあえる園
- 児童発達支援の充実

● 2025年度の評価項目

教職員の資質向上・教育内容・環境整備・保護者との連携

6. 学校関係者の評価

- ・変革の年ということで普段にはない配慮や先を見据えた園づくりなど、課題が多くたいへんだったと思います。そのような中でも、具体的な取り組みにより、目標が達成されたことは、素晴らしく、今後に繋がる一年となったのではないのでしょうか。
- ・丁寧な説明・意見交換を活発にするなど、関わりのある周囲への対応が良かったため、子ども・保護者・教職員の環境もよりよく整備されたと思います。
- ・今後の課題も具体的であり、今までと同様 研鑽を積まれ、目標にある子どもの成長や発見を保護者と一緒に喜びあえる園、という更に魅力のある園になることを期待しています。